

I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

II、本年度の指導の重点

- ・様々な人との触れ合いを通して、自ら感じ、自ら考え、自ら行動できる子どもを育てる

III、自己評価の状況

◎目標を上回る

○目標に達する

△目標に届かない

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園の運営について	◎	子どもの成長を振り返り、教育課程を評価し、必要に応じて見直し行うことができた。 幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れるが、活動の展開に応じて環境の再構成や、季節の変化に応じた環境構成がまだ不十分である。
2	保育の在り方、幼児への対応	◎	幼児の話をよく聞くようにしたり、褒めたり、励ましたり、めあてを持たせるように言葉かけをし、温かなやりとりやスキンシップを常に心がけることができた。 もう少し全教職員間の情報共有の時間を確保したい。
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	保育にたずさわる者として、専門知識や技術を身につける努力が今後も継続として必要である。
4	保護者への対応・守秘義務	◎	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接することが出来ている。保護者との良好な関係は評価できるが、節度を持ったかかわり、話し方に気を付けていく。
5	地域の自然や社会とのかかわり	○	卒園生が遊びに来ることのできる場を設けたり、子どもの情報を得るよう努めたりすることはできている。 小学校との交流や高齢者との交流を積極的に行っていく。
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	○	附属七園合同研究会では、公開保育と研究発表を実施し、好評を頂く 研修会で受けた内容を保育活動に取り入れることはできているが、自分の保育についての自己課題や悩みを同僚間で解決しようとするのが少ない
7	地域における子育て支援	○	園庭開放は行なっているが、来園者が少なく、子育て世代へのアピールができていない。 魅力的な活動、居心地の良い場を維持できるように努めていく。

IV、保護者評価の状況

回収率 87.2%

	評価項目	結果	評価内容
1	子どもの成長について	◎	先生や友達に親しみを持って喜んで登園し、様々なことに興味を示し、自分のやりたいことを見つけて、試し、工夫して遊ぶことができるようになった。 生活に必要な言葉は言えているが、相手の話をもう少し聞くことができると良い
2	園の運営について	◎	運動会や遠足、作品展など子どもの興味や発達を考え、工夫して行えている
3	家庭との連携について	◎	子ども達を知る機会の設定や1人ひとりの情報を保護者に伝えることができている。また、相談にも誠実に対応している

V、総合的な評価結果

評価	理 由
B	子どもの「やりたい」を大事にし、教師は日々を振り返り、子どもの思いを受け止めて保育を進めてきた。園内に保育に対する語り合いの風土が出てきており、教師全員で全園児を把握することができてきた。そして保護者にも担任以外から子どもの状況を話すことで、安心感を持っていただけ幼稚園に対する信頼度が高くなってきている。 小学校との交流が持てずにいるため、積極的に交流機会を設定していく。また未就園児対象に行なっている園庭開放も参加者を増加させるために、今まで以上に保護者の方からの口コミを利用して開催を宣伝し、地域に開かれた幼稚園づくりを行なっていく

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

VI、今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	園児獲得	「にこにこルーム」を開設し、0歳から2歳までの未就園児が幼稚園という場を利用して親子で楽しんでもらい、リピートにつながるように努める また、就労されている方にも幼稚園に預けられることを知ってもらい、預かり保育時間を延長し、一人でも多くの園児を獲得していく
2	少人数であることを生かした異年齢との交流保育の展開	少人数であることを生かし、一人ひとりにあった援助を行い、保護者からもさらに信頼される幼稚園を持続させていく。自然に生まれる異年齢との交流により、優しい心、思いやる心、自己を主張できる表現する力などが育っていくように保育を進めていく

VII、学校関係者評価委員の評価

- ・園長をはじめ全教職員の方々が教育目標を達成すべく努力されていると思われる。園だより、クラスだよりを拝見し、カリキュラムをしっかりと達成されていることがわかり、安心することができます
- ・広い園庭は子ども達にとってとても魅力的な遊び場所だと思います。是非広くアピールしてほしい